



教員紹介

経営学部

日下部 直美 KUSAKABE Naomi

職位	講師
最終学歴	名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程満期退学
職歴	中国 青島濱海学院 外国語学院 日本語教師
学位	文学修士
資格（免許）、認定	
担当科目（学部）	中国語Ⅰ・Ⅱ / 自分づくりセミナーⅠ・Ⅱ / 自分づくりゼミⅢ・Ⅳ / 総合基礎演習Ⅰ・Ⅱ
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	4年間の大学生活は、長いようであつという間に過ぎてしまいます。その間に色々なことに挑戦して、自分の可能性を広げてください。また、多くの人と知り合い、友達を作ってください。大学時代の友達は、損得抜きで長い付き合いができます。私も大学時代のアルバイトがきっかけで「人にものを教える」仕事を目指すようになり、大学時代に会った先生方のお陰で、今の私がいます。一つ一つの出会いを大切に、有意義な学生生活を送ってください。
研究内容	<ul style="list-style-type: none">・現代中国語における身体部位名詞の意味拡張について（認知言語学的アプローチから）・現代中国語の再帰表現に関する研究・日本語と中国語の指示詞に関する研究
研究分野キーワード	中国語学 / 中国語教育 / 日中対照言語学 / 言語学
URL	
著書	<ol style="list-style-type: none">1) 日下部直美『星城大学「中国語Ⅲ」教材テキスト』、2016年（2015年度星城大学経営学部研究費）2) 日下部直美『星城大学「中国語Ⅳ」教材テキスト』、2014年（2013年度星城大学経営学部研究費）3) 日下部直美・林佩芬『星城大学「中国語Ⅰ・Ⅱ」教材テキスト』、2013年（2012年度星城大学経営学部研究費）

論文

- 1) 日下部直美 「“口”、“嘴”の基本義とその意味拡張」 『星城大学研究紀要』 第23号 pp.17-29 2023年
- 2) 日下部直美 「“眼”、“眼睛”、“目”の基本義とその意味拡張」 『星城大学研究紀要』 第22号 pp.37-49 2022年
- 3) 日下部直美 「日本語と中国語の指示詞に関する一考察 ——同一場面において「ア系」が“这”、“那”と対応する場合を中心に」 『星城大学研究紀要』 第21号 pp.1-12 2021年
- 4) 日下部直美 「日本語と中国語の指示詞に関する一考察 ——「ア系」と“这”が対応する場合を中心に」 『星城大学研究紀要』 第20号 pp.17-26 2020年
- 5) 日下部直美 「現代中国語の再帰表現における自然受身文への適性に関する一考察——「身体部位 N+VP」形式を中心に」 『星城大学人文研究論叢』 第7号 pp.31-42 2011年
- 6) 日下部直美 「現代中国語の再帰表現における受身文への適性に関する一考察 ——「身体部位 N+被+Na+VP」形式を中心に」 『星城大学人文研究論叢』 第6号 pp.5-23 2010年
- 7) 日下部直美 「現代中国語における“被”構文と主題文について——「V+身体部位 N」形式の再帰表現を中心に」 『星城大学人文研究論叢』 第5号 pp.77-88 2009年
- 8) 日下部直美 「中国語の再帰表現における他動性と客体化の関連性——「V+身体部位 N」の形式を中心に」 『星城大学人文研究論叢』 第4号 pp.71-88 2008年
- 9) 日下部直美 「現代中国語における再帰表現に関する一考察——「V+身体部位 N」の形式を中心に」 『多元文化』 第8号 pp.121-133 2008年 名古屋大学大学院国際言語文化研究科国際多元文化専攻
- 10) 日下部直美 「试论“头”的基本义和语义扩展」（“頭”の基本義とその意味拡張について） 『多元文化』 第5号 pp.201-211 2005年 名古屋大学大学院国際言語文化研究科国際多元文化専攻

学会発表

- 1) 日下部直美 「日本語と中国語の指示詞に関する一考察 ——「ア系」と“这”が対応する場合を中心に」 日中対照言語学会第41回大会（全国大会）（2019年、明海大学）
- 2) 日下部直美 「大学中国語教授法講座 中国語を教える大学教員のためのスキルアップコース 課題発表」 東北大学 専門教育指導力育成プログラム 大学中国語教授法講座 ワークショップ（2016年、東北大学）（中華人民共和国 孔子学院総部/国家漢辦 国外漢語教師来華研修項目（外国漢語教師培訓） 於北京語言大学 国家漢語教学研究基地）

<p>社会的活動 (公開講座・講演・ 国際交流など)</p>	<p>【所属学会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本中国語学会 2) 中国語教育学会 3) 日中対照言語学会 4) 日本言語学会 5) 日本語用論学会 6) 中国語教育学会 (会計監査 2020年4月～2022年3月)
<p>その他</p>	<p>【研究ノート】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日下部直美「"足"、"脚"、"腿"の基本義とその意味拡張」『星城大学 研究紀要』 第21号 pp.35-40 2021年 2) 日下部直美「"手"の基本義とその意味拡張」『星城大学 研究紀要』 第20号 pp.35-40 2020年 3) 日下部直美「日本語と中国語の指示詞に関する一考察」『星城大学 研究紀要』 第19号 pp.53-60 2019年 4) 神野真寿美、加藤知子、中島英司 (共同研究者：日下部直美、盧聰明) 「座学以外の講義形式の可能性を求めて——星城大学経営学部「社会探索ゼミ」の試み」『星城大学 研究紀要』 第14号 pp.57-65 2014年 <p>【報告書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日下部直美「大学中国語教授法強化講座 2016 修了レポート」『東北大学 大学中国語教授法強化講座 2016 年度実施報告書』 pp.A27-30 2017年 (中華人民共和国 孔子学院総部/国家漢辦 国外漢語教師来華研修項目 (外国漢語教師培訓) 於 北京語言大学 国家漢語教学研究基地) <p>【新聞寄稿】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日下部直美「中国語圏旅行者をターゲットとした言語景観——コロナ後見据えた見直しと新たな整備を」 中部経済新聞「オープンカレッジ」 8面 2022年5月6日掲載 2) 日下部直美「公共空間における中国語——中国インバウンドにおける現状とその問題点」 中部経済新聞「オープンカレッジ」 8面 2020年1月14日掲載 <p>【学内活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「現代亜細亜研究部」顧問